

堺市気候非常事態宣言

地球温暖化に伴う気候変動の影響は深刻化しており、地球環境はまさに非常事態と言える危機に瀕しています。近年は世界各地で異常気象や災害が頻発し、多くの被害が発生しています。堺市においても、2018年9月に発生した台風第21号で記録的な暴風や豪雨等に見舞われ、甚大な被害が生じました。

今日直面している気候危機は、全人類にとって脅威となっています。

類まれな歴史と文化に彩られた持続的に発展する堺を、そしてこの美しい地球を、将来世代へとつなげていくことは現代を生きる私たちの責務であり、国際社会の一員として具体的な行動を起こすことが大切です。

よって、ここに「気候非常事態」を宣言し、市民、企業、団体、大学、研究機関等の皆様と連携しながら次の取組を進めます。

堺市は、SDGs 未来都市として、環境・エネルギー産業の集積等のポテンシャルを活かし、堺発の様々な革新的イノベーションを結集することで、2050年までに都市全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロとし、カーボンニュートラルの実現をめざします。さらに、周辺地域との共生や国際都市間協力を進めるなど、市域の枠組みを超えて気候変動への対策をけん引します。

また、様々な資源の循環利用を前提とした循環型社会の実現に加え、環境配慮型社会システムへの変革や行動変容を促す取組を通して環境と経済が好循環する都市を実現することにより、気候変動の影響への適応策を進め、生態系や緑を生かした自然と共生する魅力あるライフスタイルの創出をめざします。

令和3年（2021年）3月26日

堺市長 **永藤英機**